

設題 I マーク・シートの解答用紙を使用すること(【1】～【50】は問題の番号を、①～⑩は選択肢の数字を表している)。

以下の【1】～【30】はすべて「講義資料」のプリントからの抜粋だが、句読点や省略箇所などを若干変更したものもある。【1】～【15】についてはその著者(または発言者)名を[語群A]から、【16】～【30】についてはその出典の書名を[語群B]から選びなさい。また、文中の空欄部分□に相応する原語(板書や口頭で補足した場合もある)を、【31】～【40】については[語群a]から、【41】～【50】については[語群b]から選びなさい。

- 【1】《「なぜ貯める?」「なぜ費う?」》
【2】《同じ川に二度入ることはできない。》
【3】《ただ神のみが享受されるべきである。》
【4】《正義の最大の果実は、【31】である。》
【5】《今の世はすなわち鉄の種族の代なのじゃ。》
【6】《これまでだとて、御身に等しい褒美を貰った覚えは一度もない……》
【7】《万物は【32】の交換物であり、【32】は万物の交換物である。》
【8】《人間の知識では【33】にはかなわぬ。……【33】はおやみなく姿を変える。》
【9】《そもそも、【34】はひとりにはあらず、この世には二種の【34】がおいでなされた……》
【10】《市のなかの隔てはすべて取りこわして全体を一つの【35】にしてしまい、お互いに行き来のできるようにしましょう。》
【11】《そこで雄弁に話す能力の優れているといわれる者は、【36】すなわち貿易業者・商人の主と呼ばれているのである。》
【12】《だが、不死の神々は【37】の前に汗をお据えなされた、それに達する道は遠くかつ急な坂で、始めはことに凹凸がはなはだしいが、頂上に到れば、後は歩きやすくなる—始めこそ歩きたいだ道ではあるが。》
【13】《われらの政体は他国の制度を追従するものではない。ひとの理想を追うのではなく、ひとをしてわが範を習わしめるものである。その名は、少数者の独占を排し多数者の公平を守ることを旨として、【38】と呼ばれる。》
【14】《懷疑主義とは、いかなる仕方においてであれ、現れるものと思惟されるものと対置しうる能力であり、これによってわれわれは、対立[矛盾]する諸々の物事と諸々の言論の力との拮抗のゆえに、まずは【39】にいたり、ついで【31】にいたるのである。》
【15】《死すべき人間の社会は、地上の至るところに拡がっており、さまざまな地理的な状態にあるけれども、それぞれが自分の【40】を追求し、その欲望の充足を求めながら、それにもかかわらず、なお、同じ一つの自然本性を共通とすることにより結合されているのである。》

[語群 A] ①アウグスティヌス ②アリストパネス ③エピクロス ④サン・ヴィクトルのフーゴー ⑤セクストス・エンペイリコス
⑥ダンテ ⑦トゥーキュディデース ⑧ヘーシオドス ⑨ヘラクレイトス ⑩ホメーロス

[語群 a] ①Aretê ②Ataraxia ③Dēmocratia ④Epochê ⑤Eris
⑥Fortuna ⑦Mercurius ⑧Oikōsis ⑨Pyr ⑩Utilitas

- 【16】《時間それ自ら或る種の円環であると考えられる。》
- 【17】《われらの像に、われらの姿に似せて、人を造ろう。》
- 【18】《【41】は、幸いである、神の国はあなたがたのものである。》
- 【19】《恩恵は【42】を廃することなく劫ってこれを完成するものである。》
- 【20】《持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。》
- 【21】《お前は顔に汗を流してパンを得る、土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る。》
- 【22】《何ほどかの利益をもたらすあらゆるものの中、田園の耕作にまさってよいもの、ゆたかなもの、甘美なもの、これほど自由人にふさわしいものはない。》
- 【23】《【43】が天の国に入るのは難しい。重ねて言うが、【43】が神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。》
- 【24】《しかし、こうした原理の数や種類に関しては、必ずしもかれらのすべてが同じことを言っているわけではなくて、タレスは、あの【44】の始祖であるが、「水」がそれであると言っている。》
- 【25】《だれも、二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と【45】とに仕えることはできない。》
- 【26】《すべてのものは或るひとつのものによって測られなければならない。そして、これ、つまり、或るひとつのものとは、本当は、【46】であり、【46】がすべてのものを結びつけるのである。》
- 【27】《取材術には二種あって、そのうち一つは【47】で、他の一つは家政術の一部であり、後者は必要欠くべからざるもので、賞賛せらるべきものであるが、前者は交換的なもので、非難せられて然るべきものである。》
- 【28】《二つの仕方、つまり、暴力と【48】とにより不正は行われるが、【48】は牝狐のなすところであり、暴力はライオンのなすところと思われる。どちらも非人間的であることこの上ないが、【48】のほうがよりいっそう憎むに値する。》
- 【29】《各人は国におけるさまざまな仕事のうちで、その人の生まれつきが本来それに最も適しているような仕事を、一人が一つずつ行なわなければならない。……このような本務への専心は【49】にはほかならないことになり、国家を正しい国家たらしめるものである。》
- 【30】《ゼウスは、われわれ人間の種族がやがてすっかり滅亡してしまうのではないかと心配し、ヘルメスをつかわして、人間たちに〈つつしみ〉と〈いましめ〉をもたらすことにした。この二つのものが国家の【50】をととのえ、友愛の心を結集するための絆となるようにとののはからいである。》

[語群B] ①『義務について』 ②『旧約聖書』 ③『形而上学』 ④『国家』 ⑤『自然学』
 ⑥『神学大全』 ⑦『新約聖書』 ⑧『政治学』 ⑨『ニコマコス倫理学』 ⑩『プロタゴラス』

[語群b] ①Chreia ②Dikaiosynê ③Dives ④Fraus ⑤Kapêlikê
 ⑥Kosmos ⑦Mammona ⑧Natura ⑨Pauperes ⑩Philosophia

設題Ⅱ 論述用の答案用紙を使用すること。弁解や嘆願は「不可」、白紙答案(学籍番号・氏名等は必ず記入)は「欠席」とする。

「富と徳」の問題を中心として、ヘレニズムとヘブライズムの社会経済思想の類似点と相違点を明らかにしなさい。
 具体的に様々な例を挙げて、できるだけ詳しく論じること。

- * 本文の前に論旨をアピールするようなタイトルを付けること。また、本文中のキーワードは下線で強調すること。図解にしてもよい。
- ** 設題Ⅰで出題された文章を使う場合は、必ずその背景や意義を説明すること(ただ書き写すだけでは無効)。今回は出題されなかった文章はもちろん、担当者が講義で取りあげたり、あなたが関連して繙いたりした、他の一次資料(思想家の著作)や二次文献(研究書)にもなるべく多く言及することが望ましい。